

南部アフリカ諸国 柑橘類の輸出増加は予測を下回る

FreshPlaza 2023年11月23日

2023年の南部アフリカ諸国の柑橘類輸出の最終数値:

生産者が直面する継続的な課題の結果として予測を下回る成長

南部アフリカ諸国の柑橘類生産者*は、2023年の輸出シーズンに1億6,510万箱(15kg/箱)を梱包し、世界市場に出荷した。これは前年の数字から約80万箱の増加となるが、シーズン開始時の予測よりも50万箱少ない。しかし、さらに重要なことは、栽培面積に基づき、今後4年間でこの業界の出荷量が2億箱に達し、2032年までに2億6千万箱を出荷する可能性があるとする予想成長曲線を大幅に下回っていることである。このことは、生産者らが果実を主要市場に出荷する際に、引き続き多くの課題に直面していることを浮き彫りにしている。(※: 南部アフリカ柑橘類生産者協会に所属する南アフリカ、エスワティニ及びジンバブエの生産者)

品目ごとには以下のとおり:

- ・ 今年輸出用に梱包されたグレープフルーツは、2022年よりも190万箱少なかった。それにもかかわらず、シーズン当初の推定よりも40万箱多かった。2023年の総梱包数は1,480万箱で、2年前の2021年の2,030万箱を大幅に下回り、減少傾向が続いている。
- ・ マンダリンの輸出量は引き続き大幅に増加した。今年の出荷シーズンには3,790万箱が梱包され、前年比で610万箱増加し、シーズン開始時の予測を380万箱上回った。この成長は、果樹園の栽培面積の増加と、欧州連合(EU)と英国での旺盛な需要によるところが大きい。
- ・ レモンも増加を示した。今年の出荷シーズンには90万箱多く梱包され、合計3,560万箱に達した。しかし、これはシーズン前の予想よりも130万箱少なかった。
- ・ オレンジは全体として減少した。今年には2,470万箱のネーブル種が梱包され、昨年より310万個少なく、予想をわずかに下回った。バレンシア種も170万箱減少し、合計5,210万箱が梱包された。この合計は、当初の推定値よりも240万箱少ない。

過去2年間(昨年まで)は5人に1人の生産者しか利益を上げられない非常に困難な時期であったが、今年は市場価格の上昇と輸送コストの低下により、多くの生産者に安堵感を与えた。

しかし、生産者らは引き続き、柑橘類の輸出可能量と利益にマイナスの影響を与える多くの課題に直面した。これは、強度の計画停電等であり、柑橘類の灌漑、施肥、梱包及び低温処理に影響を与えた。低温処理は、多くの輸出品種にとって不可欠な植物検疫の要件である。

2023年シーズン中も農業投入コストの全般的な高騰が続き、生産者に圧力をかけた。6月に西ケープ州で発生した壊滅的な洪水も、同州の果樹園に影響を与えた。この洪水により、シトラスダルバレー地域の柑橘類農園に少なくとも5億ランド(約40億円)の被害が出た。